

# 埼臨技だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7  
TEL 048 (824) 4077 FAX 048 (824) 4095 URL:<http://www.sairingi.com/>  
携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

## 平成29年度公益社団法人埼玉県臨床検査技師会 臨時会員総会が開催される

平成29年度公益社団法人埼玉県臨床検査技師会臨時会員総会が平成30年3月15日に大宮ソニックシティ602号室で開催された。本総会の議案は、平成30年度事業計画案・収支予算案である。

総会は、小山博史事務局次長の進行により始まり、神山清志副会長の挨拶が行なわれ、会員の皆様のご協力に感謝の意を表された。次に名誉会員の砂川進氏、原繁一氏、前原光江氏の紹介があった。

議案審議に入る前に出席者から高野通彰氏（川口市立医療センター）が議長に選任され、高野議長より総会役員が指名された。資格審査委員長に猪浦一人理事（埼玉県済生会栗橋病院）、資格審査委員には東部地区から三木隆治氏（獨協医科大学埼玉医療センター）、南部地区から柿沼智史氏（川口市立医療センター）、西部地区から大出淳氏（埼玉医科大学総合医療センター）、北部地区から田中亜紀氏（熊谷総合病院）が任命され、書記には川音勝江氏（JCOH埼玉メディカルセンター）、今上絵理氏（さいたま市立病院）が、議事録署名人には長谷川隆氏（浦和医師会メディカルセンター）、関口久男氏（埼玉県済生会栗橋病院）が任命された。



審議前に高野議長から、「本日18時30分現在、出席者数は57名、委任状出席者数は1636名、議決権行使書数は412名、合計2105名は、第一号から第二号議案を審議するための必要出席者数である3月1日現在の全会員数2897名の過半数を越えており、定款第十八条の規定により本総会が成立しています。」と宣言された（最終の出席者数は77名、委任状出席者数は1,637名、議決権行使書数は412名、合計2,126名）。

議案審議について猪浦議事運営委員長より議事日程が提案され、それに沿い高野議長の進行により開始された。臨時会員総会の第一号議案である平成30年度事業計画案が執行部より提案され、第二号議案である平成30年度収支予算案が松岡会計部長より提案された。第一号議案は議案議決行使書412名中反対0名、拍手多数にて承認された。第二号議案は、議案議決行使書412名中反対3名、拍手多数にて承認された。

これにて総会役員、書記が解任となり臨時総会は閉会となった。総会は、高野議長による円滑な議事進行と出席してくださった会員の皆様のご協力により滞りなく開催することができた。高野議長、総会役員ならびに会員の皆様に深謝申し上げる。

この後、本年12月2日に開催される第46回埼玉県医学検査学会の進捗状況を鈴木英之の学会長（さいたま赤十字病院）から報告があった。学会テーマ『拓く』、サブテーマ：～手を広げ、見て、聞いて、知って、覚えて、繋がって～に沿った市民公開講演、学会企画など魅力的な企画を用意中とのことで期待が広がる内容であった。

（文責：猪浦一人）

## 平成29年度日本公衆衛生事業功労者表彰を受賞して

埼玉県立がんセンター

伊丹 直人

この度、平成29年度日本公衆衛生事業功労者表彰（日本公衆衛生協会会長表彰）を受賞させていただいたことを埼玉県臨床検査技師会会員の皆様にご報告いたします。推薦をいただきました関係各位、授賞式に同席していただきました津田会長、神山副会長、岡田副会長に心より御礼申し上げます。

受賞理由は「県民の健康と医療技術および公衆衛生の向上、特に輸血検査領域においては、検査技術の標準化と精度管理及び全国規模での検査技術水準の向上、人材育成に尽力した」と過分なお言葉をいただきました。

申請書類を作成するにあたり、自分が行ってきた様々な職場外での活動を振り返ることができました。輸血分野を中心に、様々な活動を声がかかるままにお手伝いしてきました。その結果、自分でも知らぬ間に多くの仕事に係わり、それを通して多くの知り合いができていたことに驚き、今は感謝の気持ちでいっぱいです。

授賞式には全国から多くの受賞者が集まりました。受賞の喜びとともに、静かで何とも表現しにくい独特な緊張感の中、自分の名前が読み上げられるという経験はそう何度もないだろうと感じました。

埼玉県臨床検査技師会で活躍されている多くの方々が、引き続きこの表彰をいただけることを祈念して御礼の言葉とさせていただきます。



津田会長 伊丹氏 神山副会長 岡田副会長

## 第46回 埼玉県医学検査学会情報

開催日：平成30年12月2日(日)

会場：大宮ソニックシティ

テーマ：『<sup>ひろ</sup>拓く』

サブテーマ：～手を広げ、見て、聞いて、知って、覚えて、繋がって～



第46回埼玉県医学検査学会

### 一般演題の募集について

学術部長 永井 謙一

平成30年5月1日より、一般演題の募集を開始いたします。今月号では、申し込み方法についてお知らせします。たくさんのご応募をお待ちしております。

尚、今学会は**演題・抄録の締切日は同日となります**のでご注意ください。

また、このお知らせも掲載した第46回埼玉県医学検査学会ホームページが4月15日に公開予定です。埼臨技ツイッターで更新情報も随時お送りする予定ですので、たくさんのご来訪をお待ちしております。

#### [概要]

#### 1. 演題申し込み資格

- 1) 発表者は、平成30年度の技師会費を納入した方（以下、会員）に限ります。
- 2) 共同発表者は、原則会員とし7名以内です。
- 3) 非会員の共同発表者がいる場合は、学会事務局にご連絡ください。

※なお、学生の発表については上記資格を問いません。

## 2. 演題、抄録原稿の申し込み方法

### 1) 会員の方

日本臨床衛生検査技師会総合情報システム (JAMTIS) を用いたWebでの演題、抄録登録をしてください。

※第46回埼玉県医学検査学会ホームページからJAMTISにリンクできます。

※ログイン時に会員番号とパスワードを使用します

演題・抄録登録(変更)時にJAMTISより「受領メール」が自動送信されます。受領メールが届かない場合はメールアドレス・登録手順を確認してください。数日経過しても届かない場合は、お早めに第46回埼玉県医学検査学会事務局へお問い合わせください。

### 2) 学生の方、コマーシャル演題

演題申込書、抄録原稿ファイルを第46回埼玉県医学検査学会ホームページからダウンロードし、学会事務局へ電子メールで送付してください。「受領メール」は演題・抄録受付後、学会事務局から数日中にメールアドレス宛てに送信いたします。

## 3. 抄録の作成要領

### 1) 会員の方

JAMTISを用いたテキスト入力方式、ファイルアップロード方式のいずれかで作成してください。ファイルアップロード方式で使用するMicrosoft Wordファイルは、第46回埼玉県医学検査学会ホームページからもダウンロードできます。

### 2) 学生の方、コマーシャル演題

第46回埼玉県医学検査学会ホームページからダウンロードしたファイルにMicrosoft Wordを使用して抄録を作成してください。

### 3) 一般演題・学生演題の本文は26文字×18行×2段=936文字以内です。

### 4) 句読点はカンマ「,」、ピリオド「.」を使用してください。

## 4. 演題・抄録

受付開始日：平成30年 5月 1日 (火)

演題締切日：平成30年 7月15日 (日)

抄録締切日：平成30年 7月15日 (日)

※演題・抄録の締切日の延長は、原則として行いません。

**※今回、演題・抄録の締切日は同日となります。**

## 5. 発表形式

パソコンを使用した口演形式で行います。

レイアウトずれを防ぐため、パワーポイントのスライドサイズ指定は「35mmスライド」に設定してください。

<動画使用の注意>

コーデックはMPEG1、MPEG2、MPEG4/AVC(H.264)、DivX、WMVをご使用ください。解像度は720×480ピクセル程度とし、デジタルハイビジョンやフルハイビジョンは避けてください。

動画再生が不安な場合は複数の形式をご使用ください。

## 6. 発表スライドの送付

詳細については後日ご案内いたします。

## 7. 申し込み演題の採否

1) 採否については実行委員会に一任願います。

2) 「採否および日時・会場」は、後日電子メールもしくはハガキにて通知いたします。

## 8. 問い合わせ先 (第46回埼玉県医学検査学会事務局)

〒330-8553 埼玉県さいたま市中央区新都心1-5 さいたま赤十字病院

第46回埼玉県医学検査学会 事務局長 阿保 一茂 宛

TEL : 048-852-1111 (内線:20354) FAX : 048-854-5813

E-mail : kazushige\_abo@saitama-med.jrc.or.jp

**[演題の申し込み方法の注意点 ★締切：7月15日(日)★]**

1) 発表者及び共同発表者は会員であることが原則です。

受付には日臨技パスワードが必要です

2) JAMTIS登録後に受領メールを必ず確認してください。

3) 非会員の共同発表者がいる場合、共同発表者が7名を超える場合は、事前に学会事務局に



そのような場合、心疾患バイオマーカーを検出することで、より早期に確実な診断が可能となった。

心筋マーカーのミオグロビンは、低分子であるため軽度の心筋障害で血中に逸脱しやすく急性期に敏感に測定可能であるが、マラソン等の激しい運動や筋ジストロフィー等の筋炎等でも骨格筋から漏出し検出される。これを利用し熱中症の診断にも用いられる。急性冠症候群の指標として、臓器特異性の高い心筋トロポニンの測定が重要であり、心壊死マーカーとしてガイドラインにも記載されている。トロポニン測定には、cTnTとcTnIがあるが、両者の血中での挙動、存在様式、腎機能の影響度など異なる点があることにも注意が必要と考えられている。また、測定精度の厳密な高感度トロポニン測定は微小な心筋壊死を検出することができるが、性差・年齢差・個人差の存在が明らかになり今後の課題と考える。

心不全の診断、重症度判定、予後予測には‘心臓の今の状態を反映する’BNP（ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド）の測定が有用であることが示されており、エビデンスをもとにガイドライン、心不全学会ステートメントなどにその旨明記されている。心不全につながる高血圧患者の管理、治療薬副作用としての心負荷管理、心不全が原因となる心原性脳梗塞などでもBNP測定の有用性が報告され、BNPの臨床用途が広がりつつある。迅速測定が普及し、迅速な治療方針の決定を通じて心不全診療現場で有用性が認められている。病態や薬剤の影響については、今後の検討が必要である。

丸尾氏には心疾患マーカーの基礎から今後の展望までを一気に論じていただき受講者一同有意義な時間を共有することができた。

(文責：大島まり子)

## テーマ ISO15189取得に向けて ～ 微生物検査室における対策と準備 ～

主催 微生物検査研究班

実施日時：平成30年 2月23日 19時00分～20時30分

会場：大宮ソニックシティ 601号室 点数：専門教科－20点

講師：霜島 正浩（株式会社ビー・エム・エル総合研究所）

参加人数：会員36名 賛助会員4名

出席した研究班班員：渡辺典之 永野栄子 砂押克彦 小西光政 小棚雅寛 森圭介 牧俊一  
研修内容・感想など

今回は、臨床検査室を有する多くの施設が近年取得もしくは取得を目指している国際規格ISO15189について、霜島氏に取得と更新の経験を踏まえてご講演いただいた。

ISO15189を既に取得している施設は国立病院や大手検査センターが多く、全国の大学がこれに続き、民間医療施設ではこれから取得を目指す施設が多いのが現状である。

取得においては、環境整備やマニュアル作成、機器の点検記録など非常に多岐にわたってチェックする項目も多いうえに学科試験も存在するというのは意外であった。しかし臨床検査室の品質を保証するのであれば当然と納得がいった。

全てにおいて、過剰に反応する必要はなく、臨床検査室として必要な事に絞って、環境やマニュアルをつくる事が重要であるという講師の言葉が印象的であった。

今後、取得を目指す施設にとっては得難い情報であり、これからの取得準備に役立てていただきたい。

(文責：牧 俊一)

## テーマ 平成29年度 脂質ミニサーベイ報告会

主催 臨床化学検査研究班研修会

実施日時：平成30年 3月 8日 19時00分～20時30分

会場：大宮ソニックシティ 604号室 点数：専門教科－20点

講演 1：総論

講師：大出 淳（埼玉医科大学総合医療センター）

講演 2：総コレステロール

講師：羽田 幸加（LSIメディエンス 川越ラボラトリー）

講演 3：中性脂肪

講師：小林 麻里子（北埼玉医師会立メディカルセンター）

講演 4：HDLコレステロール

講師：大谷 真澄（埼玉県立小児医療センター）

講演 5：LDLコレステロール

講師：巖崎 達矢（東松山医師会病院）

講演 6：non-HDL F式

講 師：柴田 真明（心臓血管研究所付属病院）

参加人数：会員36名 賛助会員 8名

出席した研究班班員：巖崎達矢 柴田真明 永井謙一 大谷真澄 三木隆治 藤本文志 大出淳  
小林麻里子 羽田幸加

研修内容・感想など

今年度も臨床化学検査研究班による脂質ミニサーベイ報告会を実施した。今回は7種類の試料を用いて44施設を対象にサーベイを実施し解析を行った。本報告会は26回を迎え、ヒトプール血清を用いての脂質項目の施設間差の確認および日常における問題点、測定原理の理解等の啓発を目的として行っている。また、今回はLDL-コレステロールの測定法の一つであるF式や、2017年版動脈硬化性疾患予防ガイドラインに記載されたnon HDL-コレステロールの解析も行った。

総コレステロールについては全参加施設がメーカー指定の標準物質を用いコレステロール酸化酵素法にて測定が行われた。使用機器、試薬による差はほぼ認められず、許容限界から外れた施設数は今年の半数以下となり良好な結果であった。

中性脂肪については全施設がメーカー指定の標準物質を用い酵素法（フリーグリセロール消去法）にて測定が行われた。使用機器、試薬による差はほぼ認められず、許容限界から外れた施設数も少なく良好な結果であった。

HDL-コレステロールについては測定原理が一部異なる6社の試薬にて測定が行われた。数年前から若干の試薬間差が認められ、今年度は試薬別評価とした。そのため、例年よりも許容限界から外れた施設数は少ない結果であった。

LDL-コレステロールについても測定原理が一部異なる6社の試薬にて測定が行われた。例年通り試薬間差が認められ、選択的可溶化法よりも選択的消去法を使用している施設の方が高値傾向にあった。

F式とnon HDL-コレステロールについては、他の脂質項目を用いた計算項目であるがゆえ、試薬間差が乖離の主な要因として挙げられた。

本検討会の解析結果を元に、日常の精度管理状況を再度ご確認頂き必要に応じて分析装置のメンテナンス、キャリブレーションの見直し等を行っていただきたい。脂質測定については未だ課題が残されているため、今後も様々な要素を取り入れながら本検討会を継続し脂質測定の標準化に貢献していきたい。

（文責：永井謙一）

## テーマ 肝線維化マーカーについて学びましょう 肝炎 ～基礎から新しい線維化マーカーまで～

主催 血清検査研究班

実施日時：平成30年 3月22日 19時00分～21時00分

会 場：大宮ソニックシティ 601号室 点数：専門教科-20点

講 師：原 敬志（シスメックス株式会社 北関東支店）

参加人数：会員26名 賛助会員 3名 非会員 1名

出席した研究班班員：庄司和春 鯨井智子 多川裕介 岩崎篤史 中別府菜穂子 鈴木淳子

研修内容・感想など

原氏に肝炎の基礎的な話から、新しい線維化マーカーであるM2BPGIについて講演いただいた。まずB型肝炎であるが、治療については日進月歩であり、肝臓専門医と相談して治療することが重要である。HBV量を反映するHBV-DNAだけではなく治療効果を反映するHBコア関連抗原やHBs抗原定量値が注目されており、これらを組み合わせて核酸アナログ剤中止基準の検討がされ始めているということであった。C型肝炎では、国内最大級の感染症で自覚症状が少なく癌化する恐れがある感染症である。最新治療薬として直接ウイルスの増殖を阻害するDAAsという薬剤が開発されたのが話題となっているが、発がんリスクは残存しているため、病状のモニタリング等を的確に行うことが重要であるとのことであった。

次にM2BPGIについてであるが、肝線維化の進展が分かる新しいマーカーであり、他のマーカーより臓器特異性が高く診断能が高いことを特徴とし、癌の発生予測にも有用とされている。測定上の注意点として、B型肝炎や脂肪性肝炎の線維化を評価する場合には、C型肝炎のM2BPGI値と比べて低めに測定されることがあるので線維化を評価する場合は注意しなければならない。また、ネフローゼ症候群を合併した症例と、一部のがん患者由来検体において陽性となることが確認されているので、臨床症状と他の検査項目等により総合的に判断する必要があるとのことであった。

今回の研修会も大変ためになり、今後の検査等に生かしていきたいと思った。

（文責：鈴木淳子）

平成29年度  
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会  
第12回 理事会議事録

日時：平成30年3月8日(木) 19時00分より

場所：埼臨技事務所

さいたま市浦和区領家7-14-7

議題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項  
Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出席：(理事)津田 神山 矢作 小山 奈良  
長岡 猪浦 石井 松岡 小島  
濱本 藤井 長澤 神嶋 伊藤  
山口 武関 阿部

(監事)遠藤

欠席：(理事)島村 岡田 濱田 鳥山

(監事)細谷

本日の理事会の出席者は19名であった。理事の出席者は18名で、現在数22名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、定款第32条第1項より、津田聡一郎会長が務めることとなった。

### Ⅰ. 行動報告 (平成30年2月8日～平成30年3月7日)

2月8日(木)平成29年度第11回理事会：

津田、神山、岡田、矢作、小山、奈良、猪浦、長岡、松岡、小島、石井、濱本、藤井、長澤、神嶋、伊藤、濱田、山口、阿部、遠藤

2月10日(土)千葉県臨床検査技師会法人化30周年記念式典・祝賀会：津田、神山

2月10日(土)平成29年度北部地区研修会：阿部

2月11日(日)平成29年度一都八県会長会議：

津田、神山、岡田

2月11日(日)平成29年度第2回関甲信支部幹事会：神山、津田、岡田

2月15日(木)日本臨床検査薬協会流通委員会プロモーション部会2017年度プロモーション地区会：

津田、神山、長岡、小島、石井、濱田

2月16日(金)第46回埼玉県医学検査学会第4回実行委員会：長岡、神嶋

2月20日(火)平成29年度第2回検査室運営研修会：津田、濱本、藤井、長澤、神嶋、伊藤、濱田、武関

2月24日(土)平成29年度東部地区研修会：

鳥山、武関

2月25日(日)チーム医療推進協議会平成29年度第2回研修会：

津田、小島、伊藤、濱田

2月26日(月)日本公衆衛生協会会長表彰公衆衛生事業功労者表彰式：

津田、神山、岡田

### Ⅱ. 報告事項

#### 1 事務局

- 1) 第26回埼玉糖尿病教育セミナーの後援名義を行った。

2) 日臨技より、第4回「山上の光賞(さんじょうのひかりしょう)」候補者推薦の依頼が届いた。

3) 2月10日、千葉県臨床検査技師会法人化30周年記念式典・祝賀会に津田会長、神山副会長が出席した。

4) 2月15日、日本臨床検査薬協会流通委員会プロモーション部会2017年度プロモーション地区会に津田会長、神山副会長、長岡理事、小島理事、石井理事、濱田理事が出席した。

5) 2月25日、チーム医療推進協議会平成29年度第2回研修会に津田会長、小島理事、伊藤理事、濱田理事が出席した。

6) 日本公衆衛生協会会長表彰公衆衛生事業功労者表彰式に津田会長、神山副会長、岡田副会長が出席した。

### 2 総務部

1) 「埼臨技だより」第466号、3月15日発行予定

### 3 事業部

1) 2月20日、平成29年度第2回検査室運営研修会が開催された。

### 4 学術部

1) 2月10日、平成29年度北部地区研修会が開催された。

2) 2月24日、平成29年度東部地区研修会が開催された。

3) 埼臨技会誌2017 Vol.64 No.3、3月15日発行予定。

### 5 精度保証部

1) 特になし。

### 6 会計部

1) 平成29年度正会員費1名分5,000円、入会金1名分1,000円、平成30年度正会員費2名分10,000円、入会金2名分2,000円、合計18,000円の入金があった。

2) 生涯教育推進研修会助成金50,000円×1研修会、合計50,000円の入金があった。

3) 埼臨技だより第465号印刷代123,541円を石井印刷へ支払った。

### 7 精度管理委員会

1) 特になし。

### 8 一都八県会長会議

1) 2月11日、平成29年度一都八県会長会議が開催された。

### 9 日臨技関甲信支部

1) 2月11日、平成29年度第2回関甲信支部幹事会が開催された。

### 10 日臨技

1) 特になし。

### 11 第46回埼玉県医学検査学会

1) 2月16日、第4回実行委員会が開催された。

### Ⅲ. 承認事項

#### 1 事務局

1) 会員動向(平成29年度分)

平成30年3月1日現在

会員数 2,897名

(新入会員 276名[平成28年度会員数2,730名])

賛助会員 86社[平成28年度 82社]

承認された。

2) 平成29年度臨時總會資格審査委員について

- 承認された。
- 3) 平成29年度臨時総会時程表について承認された。
  - 4) 平成30年度埼臨技永年会員表彰者について承認された。
  - 5) 平成30年度関甲信支部幹事候補者の選出について  
神山清志副会長を候補者として選出することとした。
  - 6) 平成30年度第1回から第3回理事会開催日について  
下記の日程にて承認された。  
第1回 平成30年4月12日(木)  
第2回 平成30年5月10日(木)  
第3回 平成30年6月14日(木)
- 2 総務部
    - 1) 特になし。
  - 3 事業部
    - 1) 平成29年度第2回検査室運営研修会会計報告について承認された。

- 4 学術部
  - 1) 平成30年・31年度各部門研究班員について承認された。
- 5 精度保証部
  - 1) 特になし。
- 6 会計部
  - 1) 特になし。
- 7 精度管理委員会
  - 1) 特になし。
- 8 第46回埼玉県医学検査学会
  - 1) 特になし。

#### IV. 議題

- 1) 旅費規程の見直しについて  
松岡会計部長より旅費規程の見直しについて発言があった。これを受け理事会審議の結果、出席理事全会一致で承認された。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

## 求人案内

- 埼玉県立がんセンター  
採用条件：臨時職員（パート）  
連絡先：048-722-1111 内線2112  
総務職員担当
- 医療法人 育生会 篠塚病院  
採用条件：正職員 臨時職員（パート）  
連絡先：0274-23-9261 相原
- 医療法人 泰成会 この眼科  
採用条件：正職員 臨時職員（パート）  
連絡先：048-830-0533  
院長 今野泰宏
- 埼玉県済生会栗橋病院  
採用条件：臨時職員（パート）  
連絡先：0480-52-3611  
内線86403 人事課：横井  
内線86320 検査科：猪浦
- 特定医療法人 俊仁会 埼玉よりい病院  
採用条件：正職員  
連絡先：048-579-2788 事務長 井上
- 医療法人 大宮シティクリニック  
採用条件：正職員 臨時職員（パート）  
連絡先：048-645-1256 本部長 星野
- 社会医療法人 ジャパンメディカルアライアンス 東埼玉総合病院  
採用条件：正職員  
連絡先：0480-40-1311 総務課 採用担当
- 社会福祉法人 埼玉慈恵病院  
採用条件：正職員1名  
連絡先：048-521-0321  
内線205 総務課：小暮  
内線130 検査科：高田

給与、社会保険等、詳細につきましては掲載してある連絡先にてご確認をお願いいたします。

## あ と が き

私事で恐縮ですが、職場内で異動があり新年度より血液・輸血分野を担当することになりました。入職して血液を2年、一般を3年、また血液に戻り数年、その後は、生化学・血清分野をずっと担当しておりましたので、かなり久しぶりの異動となります。何年も教わる立場になっていなかったもので、ちょっと新鮮な気分です。ただ、心配なのは、新しい機器・システムを覚えられるかどうか！

新しい部署のみなさん、長い目で見てやって下さい（笑）。血液像などの形態は意外と覚えているものですね。若かりし頃に叩き込んだ知識だから？

そういえば、昔覚えた歌詞は、50代の今になっても口遊めます。衰退した記憶力の代わりにメモ魔となって新しい部署で頑張ろうと思います。

（長岡 記）

